

事業実績書

事業名	門池公園の維持・運営管理推進事業
場所	門池公園及び門池地区センター
期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日までの1年間
事業内容	日程 実施項目・作業項目
	※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など) ・2020年度パークマネジメントプラン協定書(案)作成に向けた、公園維持・運営管理の具体的取り組み事業を下記の通り報告します。 1. 2020年度パークマネジメント協定書(案)の公園維持・運営管理の取り組み事業を円滑に、認知促進を図るための会議・研修会を企画開催した。 ◆会議等の開催 (1) 6月28日 自治会長研修会「パークマネジメントとは」新自治会長に解説 (2) 9月10日 緑地公園課利用推進係 重田係長打合せ「公園カルテ」 (3) 10月13日 緑地公園課利用推進係 重田係長打合せ「役割分担」 (4) 12月05日 幹事会にて、パークマネジメント協定について概要説明 (5) 02月04日 幹事会にて、パークマネジメント協定に向けた説明会開催 (6) 02月25日 パークマネジメント協定書の締結に向けた最終打合せ (7) 03月02日 門池合同定例会にて、上記の件を報告 (8) 04月04日 門池地区総会にてパークマネジメント協定書の締結予定 2. 2020年度パークマネジメントプランの公園維持管理の取り組み事業を下記の通り実施した。 ◆自治会長研修 ・パークマネジメントプラン門池公園の維持・運営管理促進事業の概要を説明した。 ◆門池の水質検査 ・目的：門池の水質改善を目指して、現状の確認し、水質改善の方法を考える。 ・方法：年4回(4・7・10・1月)、門池の5ヶ所の水を採取し測定を行う。 ・調査方法・項目は「パックテスト」COD・リン酸態リン・アンモニア態窒素 亜硝酸態窒素・硝酸態窒素、「pH」計、「溶存酸素」計、「透視度」計  ・採取場所 取水口、中間南 配水塔付近、排水口付 近、西部北側   

◆門池一斉清掃(環境美化)活動

- ・門池の一斉清掃(世代間交流の場)本年は7・11月年2回計画したが、
コロナ蔓延の為7月は中止したが、複数回のボランティア清掃活動を実施した。
11月は自治会各160名、専門部ほか20名 計180名コロナ感染症対策を施し、規模縮小・時間短縮・分散型の清掃活動を実施した。
- ・門池の環境美化は重点3項目を実施した。
- ー犬のフン公害啓発活動は年2回門池公園を巡回しポケットティッシュ、フン回収袋の配布を実施した。
- ー門池公園内の「まちをきれいに」マナー啓発看板の設置及び修繕をした。
- ー花の苗移植活動は6月・11月年2回実施した。



3. 2020年度パークマネジメントプランの公園運営管理の取り組み事業を下記の通り実施した。

◆水辺のコンサート

- ・門池コミュニティ推進委員会主管、10月3日に門池公園西側芝生広場にて、市民団体「スカバアー」の演奏を150名の住民でたのしんだ。



◆門池ウォークラリー2020

- ・門池コミュニティ推進委員会主管、10月25日門池公園周辺の6ポイントをグループで課題を解決しながら歩く野外交流イベントである。
- ・門池地区住民一人一人の健康増進が第一です。そして、200名の住民相互の親睦を深めた。





◆元旦歩こう会

- ・門池コミュニティ推進委員会主管、1月1日に門池地区センター駐車場にて、初日の出を拝む方々をお迎えし、一年の無病息災を祈り、福袋を先着300名様に配布した。合わせて「池つ子奨励賞」小中校生徒18名を表彰した。



◆コミュニティビジネス(自主事業)手ぶらでバーベキュー

- ・「手ぶらでバーベキュー」2020 夏は中止、2020 秋は期間の短縮・時間短縮規模縮小などコロナ感染症対策を施し、1日2テーブルの10組の予約をDMで案内し、2組を実施する。
- ・令和3年3月春休みも企画し、21日5組・28日1組は雨天の為、中止。14日2組・20日1組・27日1組3テーブルの予約を受け実施した。



		 
事業効果	※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を具体的な数値を用いて記載してください。 ◆コロナ禍のため、ウィズコロナの事業展開に切り替え、3密を避け集客人数を抑え、事業継続に傾注しましたので、成果指標を実績値で報告できませんが、事業修正計画の費用対効果は得られたと思います。 ◆各行事はコロナ禍の成果として、静岡県コミュニティづくり推進協議会主催の『コミュニティ・フォーラム2021』パネルディスカッションにて事例発表する機会をいただきました。 ◆沼津市民間支援まちづくりファンド事業として、3ケ年計画で実施してきました結果、パークマネジメント協定書の締結をこの令和3年4月4日に実施することになりました。	
評価	※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。 ◆平成30年度の「門池公園利活用促進事業」は、公園の活用方法・将来の門池公園の在り方を問い実証実験(模索)を通して、地域の行事の事業化を目指すものでしたが、結果は行事・協働・自主事業を区別することができたこと、また公園の利活用に電源容量、日陰、ベンチの不足など課題を見出した。 ◆令和元年度の「コミュニティビジネスへの挑戦! 手ぶらでBBQ」は、持続可能な公園利活用を考えた自主事業の創発の大切さを企画運営したもので、一定の評価をいただきました。 ◆令和2年度はパークマネジメント協定書締結を目指し、公園カルテの作成から公園の将来像と取り組み方針を明確にする為のワークショップを重ねて開催することを実践し、パークマネジメント協定書の締結をこの令和3年4月4日に実施することになりました。	
今後の活動予定	※ ファンドを利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。 ◆門池公園が10年後も豊かで住民の憩いの場、交流の場であるために、地域の絆の象徴として、よりよい環境でありつづけるために、パークマネジメント協定の締結は大変有意義な行為であると信じています。門池公園から常に新しい情報が発信できる仕組みを築いて参ります。 ◆門池公園の維持管理について、地域と行政との役割分担を互いに理解し合うこと、地域のよりよい環境保全に対する意識を高め合うこと、新たな地域活性化事業への取り組みを継続することで、持続可能なコミュニティづくり、安全安心で明るく住みよいまちづくりに発展するものであると思います。	